

# 進路だより

第60期生 第9号  
令和2年10月21日  
大阪市立淀川中学校

## 志望校の決め方

集会でも話しましたが、皆さんはどのようにして志望校を決めていますか。大半の人がまだ絞り切れていないでしょうし、いくつか候補に挙げている高校のオープンスクールや説明会にこれから参加する人もたくさんいるでしょう。

では、いくつか候補に挙げている高校は何を基準に選びましたか？

- ・志望校(候補に挙げている高校)の特徴が、自分が行きたいと思えるか。
- ・その高校に合格する学力があるかどうか。

この2点から考えて、まずはどちらを重視すべきかという、【志望校の特徴=自分が行きたいと思うかどうか】です。高校受験は、今からの頑張りでも学力は伸びます。学力で絞るのは最後の最後までできます。

では、志望校の特徴とは、どんな視点で見れば良いのでしょうか。

①志望校の高校見学をして、雰囲気をつかむ。

高校見学は面倒くさいと感じる人は多いでしょうが、絶対に行ってください。見てほしいのはまず「雰囲気」です。在校生や先生方の雰囲気、部活動の様子などは、言葉で説明できなくても何かを感じることはできるで

しょう。どんな高校生活を送りたいのか具体的なビジョンの輪郭が見えてくる人もいます。

②通学時間を甘く見てはいけない。

高校に進学すると、環境はガラリと変わります。勉強する科目数は大幅に増え、定期テストの負担は中学の比ではありません。なおかつ授業内容もレベルアップし、大学受験等のプレッシャーも高校受験の時より早い高校2年生くらいから始まります。科目数の増加、授業内容の高度化、部活動、人間関係の構築・・・高校1年生は想像以上に様々なストレスを受けます。そこに、長い通学時間が加わり、3年間平日はほぼ毎日通うことになるのです。

③高校の進学(就職)実績、指定校推薦枠などもチェック。

高校合格はゴールではありません。大学受験もゴールではありませんが、次の目標に掲げている人もいます。それらを見据えて高校選びをすることも大事です。人は周りの環境に流される生き物です。自分と同じ志を持った中で頑張ると、周りとは違う目標をもってがんばるとでは、集中力も変わってきます。

自分には目的や目標がないから、友だちと一緒に高校に行く、親が勧めるからそこにする、という安易な決め方だけはやめましょう。勧められたから興味をもったというのであれば、まずは自分で高校まで足を運んで、説明を聞いたり体験したり、雰囲気を感じてみてください。

11月には進路懇談があります。志望校が絞り切れていなかったとしても、候補に挙げている高校がなければ懇談も中身のないものになってしまいます。自分から行動して、行きたい高校を見つけてください。そこに向けて学力を伸ばしていきましょう。